

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	みらいクリエイト KITTO		
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い療育スペースが確保されている。療育内容に応じて、スタディールームとプレイルームとの使い分けがでている。	パーティションやブラ段を用いて、活動に合わせた空間作りを行っている。	継続していく。
2	保育士・作業療法士・児童指導員等の他職種を配置しており、様々な分野からの見立てでの支援を行っている。そのためお互いに尊重し合え職場間の雰囲気が良い。	・こども発達支援研究会と連携し職員の資質向上に努めている。月に1回の法人事例検討会やオンライン研修などが豊富にあり外部研修も含めて機会が確保されている。	何のためにどの活動をしているのかの目当てまで保護者に通知し家庭でも取り組んでいただけるようにする。
3	個別療育・年長のみの小集団療育・放課後デイ移行クラスと様々なカリキュラムがある。特に平日の園送迎での療育は保護者が仕事を休まずに利用できる。	児童発達支援の利用のお子様のニーズや、就学を見据えた今後の見通しも含めて、より良いカリキュラムをご提案している。	自立支援協議会育つ部会の事業所情報誌に、詳しいカリキュラムをのせる。ホームページを作成する、

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもだけの通所であるため、細かい療育の内容についての申し送りや家庭での様子を聞く機会が少ない。	計画更新の面談が半年に1回。保護者が相談したいときにどのスタッフに伝えていいのか保護者側が把握しづらいかもしれない。	担当職員を明確にし、保護者に通知する。担当者は聞き取りした課題によっては他職種につなげて支援に生かす。
2	子育て中の職員が多く、夕方以降の延長に対応できない。	夕方17時でサービスの提供が終了するが17時で終業する職員もおり他の職員の17-18時の業務量が多いためお子さんを安全な状況でお預かりができません。	17時以降の利用について希望がある際は他の事業所にも協力を依頼し地域福祉の中で支援していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいクリエイト KITTO

公表日 2026年3月5日

利用児童数 2026年1月24日 18人

回収数 16人 (88.8%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていませんか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					
	11	地域の方々と活動する機会がありますか。	9	5	2			利用外のお子様とも交流できる機会も検討して参ります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2				本年度はペアレントトレーニングを開催しました。ご参加いただきました皆様ありがとうございます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					面談時やLINEで気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					お子様一人ひとりが地域社会で生活することを最終目標に、ご家族に寄り添いながら支援して参ります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、家族参加型のイベントの開催等により、きょうだいを含めた支援がされていますか。	13	3				バーベキューや夏祭り、カレーパーティーなど家族参加型の企画を行いました。好評いただいたのでまた次年度も実施したいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1				面談時やLINEで気軽にご相談ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2				お迎え口にマニュアルが備え付けてありますので、ご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	5				実際の訓練だけではなく、課題を通して訓練に対する意識付けを行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1				毎年4月に年間計画を立案し、毎月の安全確認を実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3				怪我等があった場合は、お迎えの際に状況報告をさせて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16					
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				いつも子どもの状況に合わせて支援内容を変えてくださっています。 とても丁寧で優しく、子どもKITTOさんに行くのを喜んでいます。 親としてもとても嬉しい限りです。 KITTOに通うようになり、療育中に起きていられる時間が増え、活発になってきました。 ありがとうございます	お子さんたちの成長を一緒に見守ることができて私たちもうれしく思います。今後ともどうぞよろしく願います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらいクリエイト KITTO		公表日		2026年3月5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		落ち着く色合いのカーペットを使用している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・仕切り(パーティション)やカーテン等を使い、個別の空間を設けている。 ・スタディールームで勉強や静かな活動を行うことが出来る	多目的に使うため、目的別に区画を区切ることが難しい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		個別支援計画を元に取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	外部の方からの視察やアドバイス等を受けている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・定期的に外へ出て研修を受ける機会が確保されている。 ・月1回事業所内で事例検討会を実施している。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		スタッフが細部にわたり、観察記録を行い意見交換をしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		課題を共有し改善点を検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援会議や都度話し合いにより共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		ガイドラインに基づいた5領域に関する視点を記載したシートをもとにアセスメントを実施している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		スタッフ同士で相談しながら立案している。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・活動内容が常にリニューアルされている。 ・様々な資格を持つ職員が順番に担当することで、色んな活動が出来るようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ホワイトボードを使用し、いつでも確認できる環境になっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		ファイルに残し情報を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		担当や児童発達管理責任者が参加し、全体に共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	医療に関しては必要に応じて情報提供書を作成し医師に渡したり電話で様子を伝えたりしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		送迎時等を利用して直接その日の様子など情報共有をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		移行支援を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	夏祭りの開催やハロウィンイベントなど地域と協力して行う企画がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	保護者送迎の際に情報共有をしている。	園に送迎の方に関しては直接お話しする機会がすくないので面談の機会を増やすなどで検討していく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ペアレントトレーニングを開催した。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		日々の実践記録をもとに、丁寧に行われていると思う。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			・毎月みらいクリエイティブだよりを発行している。 ・LINE、インスタを活用している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			夏祭りやハロウィンの企画実施。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			定期的に避難訓練の説明やビデオ視聴・実際の訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			定期的に避難訓練や緊急時の引き渡し訓練を実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		保護者の確認のみで医師の指示書はもらっていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			3か月に1度の安全管理委員会での検討と再発防止に取り組んでいる。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			虐待防止委員会は年間二回の研修を実施している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			施設の安全に対して療育中の施設や身体拘束については個別支援計画に記載している。	